キャンパスベンチャーグランプリ中国

cvg -2015

山中さん、伊達さんに最優秀賞

入賞プラン15件決定
きょう広島市内で表彰式

キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）中国実行委員会（山下隆実行委員長＝中国経済連合会会長）は20日、広島市中区のリーガロイヤルホテル広島で「第14回CVG中国」の表彰式を行う。

テクノロジー部門の最優秀賞として山口大学の山中雄城さんの「救急搬送における救命率向上のためのICTを活用した新医療体制の提案」、ビジネス部門最優秀賞に広島大学大学院の伊達文香さんの「途上国の手仕事とファッションショーで目指す女性の自立 ～Based on I 自分の力で作る服と未来～」など15件を顕彰し、賞状と賞金を授与する。

◇

CVG中国は中国地方の大学院、大学、高等専門学校、短期大学、専門学校などに在籍する学生を対象にビジネスプランを募集、審査して顕彰する制度。今回は医療、介護、観光、農業、国際貢献など幅広く、これらにICT、ドローンなどの新技術を絡ませる提案が多かった。総数15校97件の応募があった。

中国経済連合会、中国地域産学官コラボレーション会議、中国四国産業人クラブ、日刊工業新聞社でつくる実行委員会が運営する。審査は吉野勝美審査委員長（島根県産業技術センター所長）ら、各分野の専門家9人が担当した。

テクノロジー部門最優秀賞を受賞した山中さん。提案にも力が入る

ビジネス部門最優秀賞を受賞した伊達さんのプレゼン

メッセージ

若い力こそイノベーションの原動力

中国経済産業局長　畑野 浩朗氏

「第14回キャンパスベンチャーグランプリ中国」各賞を受賞された皆さま、おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

本年度も、昨年以上に多くの大学・高等専門学校および専修学校から、若者らしく、独創性がちりばめられたさまざまなビジネスプランの提案をいただきました。これも、学生の起業家精神の醸成、チャレンジ精神に富んだ人材育成にこれまで取り組んで来られた大学・高等専門学校等関係各位のご尽力はもちろんのこと、学生の皆さんの日々の研さんのたまものと心から敬意を表する次第です。

当局としても引き続き、このようなチャレンジ精神をもった学生の皆さんが地域で、そして日本で活躍できるよう地域全体で支援していきたいと思います。

さて、昨年のノーベル賞は日本人2人が受賞し全国の人々に感動と喜びを与えました。

特にお二人が山梨、埼玉という地方の大学で基礎を身につけられ、その後のご自身の努力や関係者の協力を得つつ世界を驚かせる発見をされたことは地方にかかわる者としても大変勇気を得ました。

中国地域より本グランプリに参加された学生の皆さんも、お二人に負けず、若者らしい新鮮な発想、ユニークなアイデア、独創的な技術を十分に発揮し、世界へと挑戦されることを心から期待しております。

当局といたしましては、地域のものづくり産業の「強み」を生かして、地域基幹産業の競争力強化、技術開発などのイノベーション創出に取り組むとともに、地方創生に向け切れ目のない多様な支援を展開します。

中国地域発のイノベーション創出に向けて、これからも情熱あふれる若い皆さんに期待しています！

プレゼン内容をあらゆる観点から審査する

CVG中国実行委員長

山下 隆

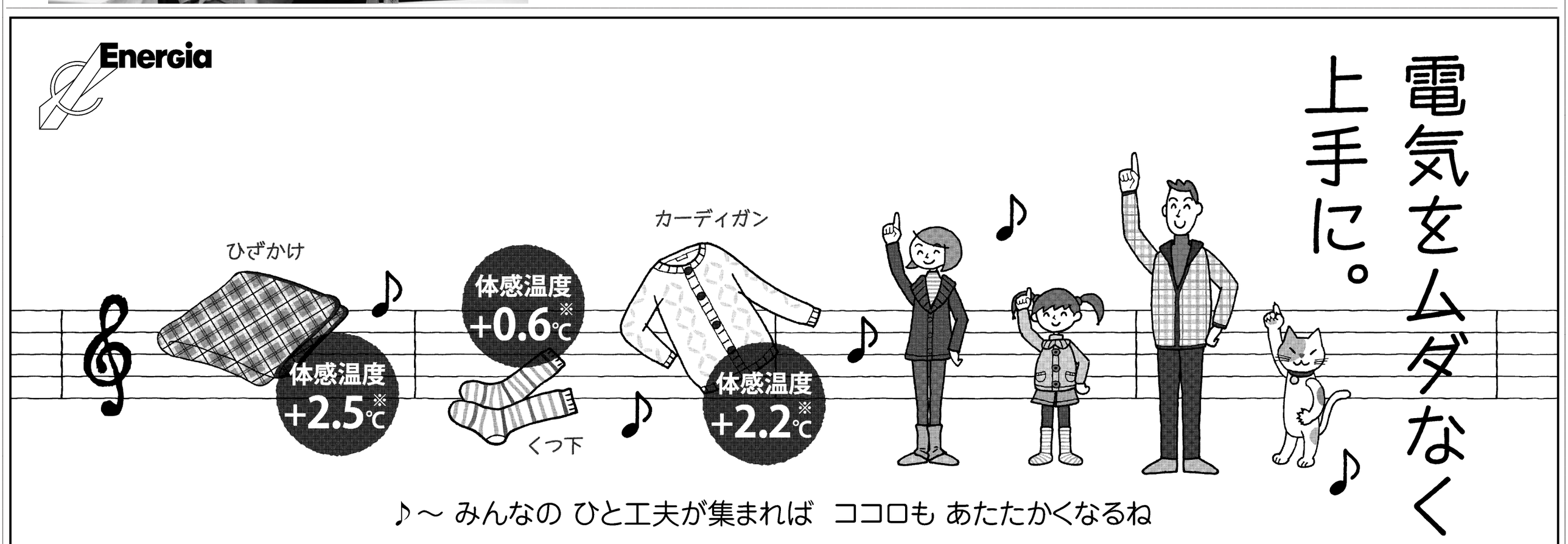
社会的課題の解決に挑む意欲の高さ実感

わが国の経済は緩やかな回復基調にありますが、新興諸国の景気減速懸念など、景気の先行きに対する不透明感が広がってきており、地域産業の持続的発展のためには、産業競争力強化に向けた取り組みが重要となっています。各自治体では「地方創生」戦略を策定しており、本年は、計画から実行への新たな段階に入ってきています。今後、地域間競争が激しくなると予想され、自立的な取り組みによる特色ある地域づくりを進め、地域の活力を増していく必要があります。

CVG中国は、学生による新商品・新事業のビジネスプランを競うコンテストを通じて、起業家精神の醸成と創造性・チャレンジ精神に富んだ人材の育成を目指すものです。

今回応募いただいた90件を超える提案の中には、ものづくりの新たなアイデアの他、商店街の活性化とともに自然災害への備えに取り組むものや、介護福祉、医療、教育、観光など、今日の中国地域が抱える社会的課題にかかわる提案も多く、学生の皆さんの問題意識の高さをあらためて認識いたしました。また、発展途上国の支援とビジネスを両立させ、持続可能な社会貢献活動を目指すなど、世界を視野に入れた提案もあり、柔軟な発想力とともに、そのポテンシャルと意欲の高さを感じました。

一昨年、昨年と続けてノーベル賞受賞者を日本から輩出し、あらためて基礎科学のポテンシャルの高さが示されましたが、研究成果が実を結ぶまでには幾多の失敗を乗り越え、試行錯誤を繰り返し、また、その研究を支えた多くの人々がおられたであろうことは容易に想像されます。

今回受賞された方はもちろん、惜しくも賞を逃した皆さんも、引き続き粘り強くチャレンジし、社会に貢献されることを期待しています。

今後ともCVG中国の一層の充実、ならびにそれを支える大学・高専の先生方と学生とのネットワーク作りに努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、皆さまの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。